

情報公開日：2026年7月5日 掲載・取材：随時受付

2026年6月12日作成

広島の地面の下から出てきた弥生土器を、クッキーで再現する

「土器形クッキー体験～作って学ぶ広島の文化財～」8月2日（日）広島市総合福祉センターにて開催

広島市内の遺跡から出土した弥生時代の土器片を実際に手に取り、その形や文様の特徴をクッキー生地で再現する—そんな体験型ワークショップが今夏、広島で開かれる。主催は文化財の保存・活用支援に取り組むNPO法人「文化財保管活用支援機構（CPSUS）」。広島市文化財団の協力を得て、本物の出土品を教材にした「作って食べて学ぶ」文化財教育の新しい形を提案する。

参加者はまず土器片を観察し、形や文様の特徴を観察シートに記録。その後、気に入った特徴をクッキー生地で表現し、世界に一つだけの土器形クッキーを焼き上げる。ゲスト講師は、この「土器形クッキー」を考案した考古学者のヤマラさん（下島綾美）。対象は小学5年生以上、定員20名。文部科学省、広島県、広島市、広島市教育委員会、中国新聞社ほかが後援する。**前回（2025年・広島市）開催実績**

参加者21名 | アンケート「大変満足」回答率90%以上

「広島のこんな歴史、知らなかった」「本物の土器に触れて感動した」「観察から創作につながる流れが面白かった」

主催者コメント

広島市内で出土した土器を実際に見て、手に取り、その特徴をクッキーで再現することで、文化財をもっと身近に感じてもらいたいと思っています。土器は遠い昔のものではなく、広島で暮らした人たちの生活のあとです。子どもにも大人にも、「広島の歴史って面白い」と感じるきっかけになればうれしいです。

岡村真由 特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構（CPSUS）理事長

当日 撮影・取材いただける主な場面

- 広島市出土の弥生土器片を手に取り観察する参加者の様子
- 焼き上がった土器形クッキーが並ぶ様子
- 形や文様を観察シートに記録する場面
- 参加者の試食・感想インタビュー
- クッキー生地で土器の特徴を再現する制作風景
- 岡村理事長・広島市文化財団へのコメント取材

撮影おすすめ時間帯：14:00～15:30（観察シート記入・クッキー制作・試食の一連の流れを撮影いただけます）

開催概要

イベント名	土器形クッキー体験～作って学ぶ広島の文化財～
日時	2026年8月2日（日）13:30～16:00（受付 13:00～）
会場	広島市総合福祉センター 調理室 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま 5階
対象・定員	小学5年生以上 20名（お一人でも親子でも参加可）
参加費	1,500円／名
申込期間	2026年7月5日～7月19日（定員に達し次第締切）
主催	特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構（CPSUS）
協力	公益財団法人広島市文化財団・アーケストレージ株式会社
助成	公益財団法人ツネイシ財団
協賛	ツネイシクラフト&ファシリティーズ株式会社
後援	文部科学省、広島県、広島市、広島市教育委員会、中国新聞社、（公社）日本文化財保護協会、観光考古学会

ゲスト講師プロフィール

ヤマラさん（下島綾美） | おかしあそびプランナー・考古学者

土器形クッキー「ドッキー」の考案者。慶應義塾大学大学院史学修士。遺跡発掘調査・ミュージアム展示企画に携わりながら、全国でお菓子と歴史を組み合わせたワークショップを展開。2025年6月、朝日新聞「フロントランナー」欄に掲載。

取材・お問い合わせ先

特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構（CPSUS） 担当：岡村真由

TEL：03-6555-4287 MAIL：okamura@cpsus.org

https://www.cpsus.org

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目7番8号 VORT 秋葉原IV 2F

取材対応について

- ・当日取材・事前掲載に対応可能
- ・写真データの提供可（事前申請要）
- ・参加者撮影は同意確認の範囲内で対応